（様式①）

事　業　計　画　書　目　次

［環境創造局］　　１款２項３目　　（単位：千円）

計画書頁	事　業　名	令和５年度		令和４年度		増△減（５－４）		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	まちなかでの緑の創出事業	79,035	75,535	111,485	106,485	△ 32,450	△ 30,950	
2	市民や企業と連携した緑のまちづくり事業	65,830	65,830	59,680	59,680	6,150	6,150	
3	子どもを育む空間での緑の創出・育成事業	75,000	71,500	68,000	68,000	7,000	3,500	
4	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業	362,568	362,568	336,350	336,350	26,218	26,218	
	計	582,433	575,433	575,515	570,515	6,918	4,918	

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課	新規拡充	□ 新規　□ 拡充	事業評価書番号	1-2-3 1
事業区分	□ 施設等整備費	■ その他				

歳出予算科目	みどり保全創造事業費	会計	1	款	2	項	3	目	枝番号	1	前年度事業名称	まちなかでの緑の創出・育成事業

事業名称	まちなかでの緑の創出・育成事業	政策番号	31	政策指標	1	施策番号	3	施策指標	－

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和５年度	79,035	3,500	0	0		19,000	56,535
補助事業	7,000	3,500				3,000	500
単独事業	72,035					16,000	56,035
令和４年度	111,485	5,000	0	0		4,000	102,485
増△減	△ 32,450	△ 1,500	0	0	0	15,000	△ 45,950

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算	事業費	95,855	147,055	114,485
	市債＋一般財源	95,855	147,055	114,485
決算	事業費	89,652	99,709	91,712
	市債＋一般財源	89,652	99,709	91,712

令和６年度	令和７年度	令和８年度
－	－	－
－	－	－

事業概要	多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会の多い街路樹を良好に育成するための取組や、地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。
事業開始年度	平成21年度
根拠法令・方針決裁等	(1) 公共・公有地での緑の創出・育成　緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第４条の施行に関する基準、横浜市公共施設・公有地での緑の創出事業事務取扱要領、横浜市公共施設・公有地での緑の育成事業事務取扱要領 (2) 公開性のある緑空間の創出支援　　横浜市公開性のある緑空間の創出支援事業要綱 (3) 横浜市建築物緑化保全契約手続要綱 (4) 名木古木保存事業　　横浜市名木古木保存事業要綱
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	(1) 公共・公有地での緑の創出・育成 ①多くの市民が利用する各区の公共施設や公有地で緑化整備を行いました。 そして、各施設では、花壇整備、屋上や壁面での緑化など、多様な緑化を進めました。 今後も、多くの市民が利用する公共施設を率先して緑化することで、市民が実感できる緑化を進めるとともに、創出した緑を良好に維持管理することが必要です。 ②各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進し、充実を図った公共施設・公有地の緑を良好に維持管理することで、市民が実感できる緑や地域の景観形成、賑わいの創出を図ります。 (2) 公開性のある緑空間の創出支援 ①多くの市民の目に触れる場所で制度がさらに活用され、まちなかの緑の創出が実感できる取組のモデルとなるよう、効果的な広報と、相談・利用につなげていく工夫が必要です。公開性のある緑空間の創出支援事業については、より多くの市民に活用していただけるよう、事業の周知をさらに進める必要があります。 ②公開性のある緑空間の創出支援のため、多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対しその費用の一部を助成、支援することで、緑の持つ憩いの場としての機能や緑・花による街の魅力向上や賑わいの向上につなげます。 (3) 横浜市建築物緑化保全契約 ①この制度の活用により、市民や企業が主体となった緑地保全が進み、地域の緑の保全につながっています。 また、制度を周知するため、区役所や財政局の協力を得ながら、固定資産税納税通知書発送時の案内チラシの同封や、「税の知識」等へ案内記事を掲載するなど積極的に周知に取り組みました。 制度開始当初（2009、2010年度）の契約件数は、全件数に対する高い割合を占めており、それらが契約満了を迎える2019年度から、契約者に改めての契約についてご案内したところ、改めての契約締結件数も多くありました。 ②建築物緑化保全契約の締結事業では、緑豊かな都市景観を形成し、生活に潤いと安らぎを与える緑化の推進と緑地の保全のため、緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者（管理者）の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減します。 (4)名木古木保全事業 ①制度の周知が図られ、3か年で新たに66本を名木古木に指定したほか、維持管理等にかかる助成金は195本に対して行うなど、高い実績となりました。 また、指定された名木古木には、定期調査として、樹木の専門家である樹木医が育成状況を確認するとともに、維持管理について適切な助言をするなど、所有者に対する支援を行いました。 ②緑の環境をつくり育てる条例に基づき保存すべき樹木として指定し、地域住民に古くから町の象徴として親しまれ、故事、来歴等のある樹木をもって潤いのある市民生活の確保と、都市の美観風致を維持します。
根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
公共・公有地での緑の創出	単位	目標	7	7	7	7	－	－	－
	か所	実績	12	5					
公共・公有地での緑の育成	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	か所	実績	推進	推進					
公開性のある緑空間の創出	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	か所	実績	2	1					
建築物緑化保全契約の締結	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	件	実績	15	2					
名木古木の保存（新規指定）	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	本	実績	28	11					
名木古木の保存（助成交付）	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	件	実績	72	82					

事業スケジュール	
	(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成 ： 事業実施(通年)、事業説明・予算取りまとめ(8月)、実績報告(3月) (2) 受付（４～１月） (3) 受付・契約の締結（通年） (4) 助成受付（例年１月末まで）、新規指定受付（例年６月末まで）、指定調整会議（12月）

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
	① 公共・公有地での緑の創出・育成	75,750	108,000	▲ 32,250	緑化予定内容の減
	② シンボル的な緑の創出・育成（公開性のある緑空間の創出支援）	1,205	1,205	0	
	③ 建築物緑化保全契約の締結	800	1,000	▲ 200	調査対象件数の減
	④ 名木古木の保存	1,280	1,280	0	
	細事業合計	79,035	111,485	▲ 32,450	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	小田嶋鉄朗	高村曉子	石井久美子

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課				新規拡充	□ 新規　□ 拡充				事業評価書番号	1-2-3 2			
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他														
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1	款	2	項	3	目	枝番号	2		前年度事業名称	市民や企業と連携した緑のまちづくり事業			
事業名称	市民や企業と連携した緑のまちづくり事業					政策番号	31	政策指標	1	施策番号	1	施策指標	1		

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一　般　財　源　等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和５年度	65,830	0	0	0		0	65,830
補助事業							0
単独事業							0
令和４年度	59,680	0	0	0		0	59,680
増△減	6,150	0	0	0	0	0	6,150

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
予算	事業費	53,680	63,680	68,680	－	－	－
予算	市債＋一般財源	53,680	63,680	68,680	－	－	－
決算	事業費	42,813	51,511	57,023			
決算	市債＋一般財源	42,813	51,511	57,023			

事業概要	緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成していくため、地域をはじめとする多様な主体と連携した緑や花に関するイベントの開催や、緑や花を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や公園等での地域の花いっぱいにつながる取組を推進します。
事業開始年度	(1)平成31年度 (2)昭和52年度
根拠法令・方針決裁等	(1) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり　：　都市公園法、横浜市公園条例、道路法、各区における「地域に根差した緑や花の楽しみづくり」実施要綱、横浜市緑化推進関係団体事業補助金交付要綱 (2) 人生記念樹の配布　：　横浜市人生記念樹配布事業要綱
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	(1) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり ①オープンガーデン等花や緑に関するイベントの開催、駅前での花壇整備や、花や緑を育む活動の支援など、地域に根差した各区での取組や、それを担う人材育成等を推進しました。 　そして、新型コロナウイルス感染症対策をしながら花や緑に親しむ取組を企画したり、イベントの実施に代わり動画配信や花壇設置をするなど、工夫して花と緑の取組を実施しました。 　令和4年度には、鶴見区、青葉区おいても新たにオープンガーデンの実施を予定しており、市民・企業・団体などの皆様との連携をさらに拡大・強化していきます。 　それによって、花や緑への関心や市民参加の広がりを全市的に展開することで、国際園芸博覧会に向けた花や緑による機運醸成につながっています。 　また、公園愛護会を対象とした花壇講習会を実施し、球根・花苗等を公園愛護会に毎年配布しました。各区の公園花壇に植えていただき、地域の花いっぱいにつなげました。 ②緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。全国都市緑化よこはまフェアを契機として、区民や団体などの皆様と連携して、地域にあわせた事業が幅広く展開されています。一方で、ガーデンネックレス横浜2022春のアンケート結果では、「花・緑への関心」について、「以前は関心がなかったが、ガーデンネックレスの会場をみて関心が高まった」が36%となり、イベントによる一時的な関心の高まりにとどまらない、緑や花に対する意識の高まりが行動につながるような取り組みが求められます。 　よこはまフェアの成果でもある緑や花に対する市民の皆様の意識の高まりや盛り上がりを生かし、緑化への市民参画に資する取組を継続して実施することで、2027年の国際園芸博覧会に向けた機運醸成にもつなげていきます。 (2) 人生記念樹配布事業 ①横浜市内産苗木を活用することで、みどりアップ計画の一環である地産地消にも取り組みました。 　また、問合せの多い内容等について、ホームページに随時反映するなど利用しやすい制度となるよう改善に取り組みました。その他、教育委員会の協力を得て、小学校入学説明会での周知を行いました。 ②市民参加による緑の育成と推進を図り、民有地の緑を増やす施策の一つとして、市民が人生のうちで数々の思い出を残す最も意義深い出生、結婚などの喜びを記念し、記念樹として苗木の配布を行っている。市民が緑に対する愛着を深め、広く民有地に植樹し、自らの木として守り育て都市緑化の推進、寄与を目的とします。 　対象が幅広く利用しやすい制度であるが、令和３年度実施のeアンケートより、「事業を知らない　63.6%」と知名度の低さが課題となっています。 　今後、2027年度国際園芸博覧会開催も見据えたうえで、より多くの市民に緑や花に興味を持ってもらうため、令和５年度は、次年度からの新たな形で事業実施に向けて検討していきます。検討のなかでは、令和６年度の運営に関する委託契約を令和５年度中に締結するといったことも含め、事業実施方法を見直しと実施をあわせて進めていきます。
根拠・データ等	・公園愛護会への球根・多年草配布実績 【令和２年度】多年草：4,000鉢　243公園、球根107,000球　957公園 【令和３年度】多年草：9,000鉢　387公園、球根256,000球　1,148公園 ・外部意見を聴取する仕組みとして、「横浜みどりアップ計画［2019-2023］」として、「横浜みどりアップ計画市民推進会議」に評価及び意見・提案等をもらっている。 ・横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） ・横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書 ・令和３年度第16回ヨコハマeアンケート人生記念樹配布事業の樹種見直しに関するアンケート　「事業に申し込んだことはない 54.3%」

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
18区での地域に根差した花や緑の取組	単位	目標	18	18	18	18	－	－	－
	件／年	実績	18	18					
苗木の配布	単位	目標	8,000	8,000	8,000	8000	－	－	－
	本	実績	6,284	7,423					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	(1)事業実施（通年）、区への事業説明（７月）、予算取りまとめ（９月）、実施報告（３月） (2)受付（通年）、配布（５～６月、10～11月）、R6年度運営委託（10月）、R6年度広報（３月）

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
	① 地域に根差した緑や花の楽しみづくり	64,000	58,000	6,000	各区の実施計画の集計に基づく増
	② 人生記念樹の配布	1,830	1,680	150	出張の増
	細事業合計	65,830	59,680	6,150	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小田嶋鉄朗	小野澤　圭介	松田真依

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課				新規拡充	□ 新規　□ 拡充				事業評価書番号	1-2-3 3	
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他												
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1	款	2	項	3	目	枝番号	3		前年度事業名称	子どもを育む空間での緑の創出・育成事業	
事業名称	子どもを育む空間での緑の創出・育成事業					政策番号	31	政策指標	1	施策番号	3	施策指標	－

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和５年度	75,000	3,500	0	0		14,000	57,500
補助事業	7,000	3,500				3,000	500
単独事業	68,000					11,000	57,000
令和４年度	68,000	0	0	0		0	68,000
増△減	7,000	3,500	0	0	0	14,000	△ 10,500

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算	事業費	63,186	64,999	67,000
	市債＋一般財源	63,186	64,999	67,000
決算	事業費	54,987	55,431	42,798
	市債＋一般財源	54,987	55,431	42,798

令和６年度	令和７年度	令和８年度
－	－	－
－	－	－

事業概要	次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。
事業開始年度	平成26年度 （平成21年度から実施している民有地緑化助成事業、公共施設緑化事業、公共施設緑化管理事業を一部統合して事業化）
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第４条の施行に関する基準 横浜市市立保育所・学校等緑化事業事務取扱要領 横浜市市立保育所・学校等緑地育成事業事務取扱要綱
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	①公共保育園、幼稚園、小中学校において、PRにより制度の周知が進んだことから、3か年で5か年目標値を達成し、多様な緑を創出しました。 　また、子どもたちが日常的に利用している芝生やビオトープを、常に良好な状態で維持していくためには、施設管理者へのフォローアップが重要であり、今後も継続した技術支援が必要です。 ②保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成 　緑の創出・育成を通じて、緑、花や生き物とふれあったり、育てる体験を通して、子どもの豊かな感性を育むとともに子どもたちが地域の緑や環境に関心を持つきっかけを増やします。 （このうち、１項では民間施設への助成事業を、２項では公立施設における緑化事業を実施します。） 　ア　緑の創出 　　子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。 　イ　緑の育成 　　創出した緑（園庭・校庭の芝生等）を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を助成します。また、芝生やビオトープ、花育等緑化に関する技術支援を行います。
根拠・データ等	公立保育園・小中学校数：　約550校　（令和３年度学校基本調査より） 横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
緑の創出	単位	目標	10	10	10	10	－	－	－
	件	実績	39	40					
緑の育成	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
	件	実績	117	98					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	○公立保育園・小中学校の整備：事業実施(通年)、事業説明・予算取りまとめ(8月)、実績報告(3月)

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
	① 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	75,000	68,000	7,000	各区局の計画を踏まえた増
	細事業合計	75,000	68,000	7,000	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	小田嶋鉄朗	高村暁子	大崎十夢

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

（様式②-1）

令和　５年度　事業計画書

事業局課	環境創造 局	みどりアップ推進 課				新規拡充	□ 新規　□ 拡充				事業評価書番号	1-2-3 4			
事業区分	□ 施設等整備費　■ その他														
歳出予算科目	みどり保全創造事業費 会計	1	款	2	項	3	目	枝番号	4		前年度事業名称	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業			
事業名称	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業					政策番号	31	政策指標	1	施策番号	3	施策指標	－		

（単位：千円）

区　分	金　額	財　源　内　訳				一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入		市債	一般財源
令和５年度	362,568	0	0	0		0	362,568
補助事業							0
単独事業							0
令和４年度	336,350	0	0	0		0	336,350
増△減	26,218	0	0	0	0	0	26,218

歳出		令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算	事業費	408,460	455,200	451,800
予算	市債＋一般財源	408,460	455,200	451,800
決算	事業費	478,342	392,102	376,653
決算	市債＋一般財源	478,342	392,102	376,653

令和６年度	令和７年度	令和８年度
－	－	－
－	－	－

事業概要	第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人が訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。
事業開始年度	平成26年度
根拠法令・方針決裁等	緑の環境をつくり育てる条例、緑の環境をつくり育てる条例第４条の施行に関する基準、横浜市都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり事業事務取扱要領
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 （必要性）	①3か年でみなとみらい21地区から山下地区を中心とした都心臨海部や、こども自然公園、児童遊園地、里山ガーデン、新横浜駅周辺など１５か所で空間づくりと維持管理を進めました。それによって、都市公園や港湾緑地、街路樹などにおいて緑のネットワーク形成が進み、季節の花による空間演出が行われ、都心臨海部の季節の景観として定着しました。 　そして、山下公園や港の見える丘公園などでは、バラ園や美しい花壇が整備され、いつ訪れても緑や花が楽しめる質の高い管理が行われています。また、こども自然公園、児童遊園地などで桜などの花木による花の名所づくりが進み、里山ガーデンでは緑や花で会場を彩りました。 　多くの市民や観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、質の高い維持管理を進めながら、緑や花により魅力を高めることが重要です。 ②みなとみらい21地区などの都心臨海部や、第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催により多くの人で賑わった里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。また、こども自然公園などの都市公園において、桜などの花木による花の名所づくりを進めます。 　あわせて、いつ訪れても緑や花で彩られた魅力ある街を目指し、創出した質の高い緑花を良好に育てます。 ※1項、2項合わせた事業の内容です。
根拠・データ等	横浜みどりアップ計画[2019-2023]（平成30年11月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書

事業指標		年度	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
緑花による空間づくりと維持管理（※123との合計）	単位	目標	推進	推進	推進	推進	－	－	－
		実績	15	14					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール	事業実施（通年）、予算とりまとめ（8月）、報告取りまとめ(3月)

（単位：千円）

細事業（事業内訳）	細事業名称	５年度	４年度	差引（増減）	増減説明
	① 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	362,568	336,350	26,218	緑化内容の変更等による増
	細事業合計	362,568	336,350	26,218	

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	小田嶋　鉄朗	高村　暁子	石井　久美子

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1